

姫たちの絵本

平成23年 2月16日(火)～4月3日(日)

大名家の女性たちの蔵書を代表するのは、婚礼調度などにも含まれる装飾性に富んだ豪華な装幀の書物(「調度本」「装飾本」「棚飾り本」)です。

中でも、お伽草子や物語の絵巻や絵本は、金泥で草花などが描かれた料紙に記された詞書きや極彩色のさし絵など、華やかな近世大名文化を象徴するもののひとつです。

出版文化の発展により江戸時代の後期には、極彩色のさし絵入りの絵草紙が数多く出版され、人気の絵草紙は大名家の奥向きの蔵書にも加えられました。

No.	名 称	時代	世紀(年号)	所蔵者
1	文正草子絵巻 俊恭院福君(尾張家11代齊温夫人)所用 三巻の内上巻	江戸	17-18	
2	つれづれ草 榮珠院新君(尾張家3代綱誠夫人)所用 六冊の内	江戸	17	
3	大黒舞 光雲院安己君(尾張家6代継友夫人)所用 二冊の内	江戸	17	
4	くさ物語 同上所用 二冊の内	江戸	17	
5	ふしみときは 二冊の内	江戸	17	
6	しぐれ 五冊の内	江戸	17	
7	伊勢物語手鑑	江戸	17	名古屋市博物館蔵
8	白描源氏物語画帖	江戸	18	名古屋市博物館蔵
9	源氏物語 花散里・蓬生・篝火 三冊の内	江戸	19	
10	修紫田舎源氏 柳亭種彦著・歌川国貞画 十九冊の内	江戸	文政11-天保13年<1828-42>	
11	其由縁鄙迺倂 一筆庵可候等著・一陽齋豊国等画 十一冊の内	江戸	弘化4-元治元年<1847-64>	
12	薄紫宇治曙 柳下亭種員等著・歌川豊国等画 三冊の内	江戸	嘉永3-5年<1850-1852>	
13	其由縁鄙迺倂 一筆庵可候等著・一陽齋豊国等画 五冊の内	江戸	弘化4-嘉永2年<1847-49>	
14	足利絹手染紫 笠亭仙果等著・一陽齋豊国等画 十四冊の内	江戸	嘉永3-安政4年<1850-57>	

以上

- ・ 出品リストの番号は、展示順を示していません。
- ・ 印は徳川美術館の所蔵品であることを示します。
- ・ 所蔵者の記載のない作品は全て名古屋市蓬左文庫の所蔵です。